

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年2月14日公開

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。現在、エルサレムでフェイスブックライブを行なっています。今日は2018年2月14日（書記注：日本時間2月15日午前3時）です。いろいろな動画が、あちこちで投稿されているため、これからは、いつ、どこで撮ったものなのかをはっきりさせるために、日にちをお伝えすることにしました。今日は2018年2月14日、エルサレムよりライブ配信を行なっています。素晴らしいアップデートがあります。と言っても、内容はいつも素晴らしいとは限りませんが、私たち信じる者にとっては、中東地域が大きな出来事に向けて準備が整うのを見るのは、とてもワクワクするものです。それが何かは、私たち全員が知っていますね。

ということで、もう一度。シャローム！皆さんこんばんは。アミールです。中東アップデートのフェイスブックライブをまもなく始めます。まず最初に、とても嬉しいお知らせです。スペイン語のユーチューブチャンネルが始まりました。すでに、日本語、中国語は出来ていて、今回はスペイン語のユーチューブチャンネルです。Behold Israel を訪れるか、今フェイスブックをご覧になっている方は、我々のユーチューブのスペイン語チャンネルのリンクがあると思います。私の全ての動画にスペイン語の字幕が付いています。わたしはずっとこれをしたかと思っていたので、本当にワクワクしています。ようやく信頼でき、喜んで字幕入れをしてくださる方が見つかりました。どなたか、スペイン語を話すお知り合いやご親戚、お友達がいらっしゃるなら、もしくは、スペイン語を話す教会をご存知の方は、私たちのスペイン語のユーチューブチャンネルへのリンクを渡してください。祝福になると思います。

今夜はいくつかのことについてお話します。

一つ目はベニヤミン・ネタニヤフについて。メディアやソーシャルメディアで、彼がすぐにでも辞任するという偽の噂や、偽ニュースがたくさん出回っています。これは、デタラメです。彼は辞任しません。これは、警察が彼を起訴するためのただの勧告であって、イスラエルでは、警察はただ勧告するだけで、何も決定できません。それについては、後ほどお話します。

それから、土曜日の出来事の余波についてもお話します。イランのドローン、イスラエルの報復。イランにとっては、物凄く悲しい結果でしょう。彼らは、大きな過ちを犯した、と私は思います。彼らは地域レベルと国際レベルで、多大な結果を被る事になるでしょう。それについてもお話します。

それから、バッシヤール・アサドが数日前にロシア軍と共に犯した大きな過ちについてもお話します。

それから、シリアで起こっていることに対する、アメリカの密かな介入について、また、シリア北部でのトルコ部隊の状況についてもお話します。

しかし、その前に、お祈りしましょう。

お父様、私たちがあなたの御前に出させてくださり、ありがとうございます。

あなたは、「わたしはまだなされていないことを昔から告げ、わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。」(イザヤ書 46:10 参照)と仰いました。

お父様、この世の王たち、この世の支配者たちは、自分たちは賢く、自分たちの決断は素晴らしいと思っています。しかし、彼らがあなたを外に排除し、彼らが自身のプライドや野望を基に決断を下す時、あなたは、彼らが、あなたの民、あなたの地、メシアご自身に対して、彼らが戦略を練るのを、天でご覧になって、笑われます。ですから、今日、私たちは、あなたが全てを支配しておられること、あなたがこれら全てを2,800年以上前に、既に預言者を通して告げられたことを覚えて、中東の状況を見て行きます。私たちが恐れるのではなく、準備を整えることを、あなたは望んでおられますから。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

イスラエルの聖なる方、イエシュア、イエスの御名によって・・・全て神の民は言います。

アーメン。

アーメン！では、もう一度。皆さん、エルサレムより、シャローム！アミール・ツアルファティです。フェイスブックライブを配信中です。今日は2018年2月14日水曜日です。

ではまず最初に、ベニヤミン・ネタニヤフについてお話ししましょう。ベニヤミン・ネタニヤフが、イスラエル首相の地位をもうすぐ辞任する、という偽の噂話やフェイクニュースが、ソーシャルメディアに蔓延っています。これについてご説明します。インターネットでは既にお伝えしましたが、今回は動画でもお伝えします。これは、デタラメです。この18か月、一年半以上の間、ベニヤミン・ネタニヤフの贈収賄に関する申し立てを、警察が探し回っていました。“憶測上”の収賄です。ベニヤミン・ネタニヤフの親友の一人に、Arnon Milchan というハリウッドの大物プロデューサーがいますが、彼が友人として、ネタニヤフ一家に葉巻やシャンパンといった贈り物をしたのです。それ以上のものは、何もありません。問題は、多くの人がベニヤミン・ネタニヤフを倒そうとしているのです。彼はタカ派と見なされており、保守派、強硬派として見られています。そして、アメリカといった他の国のリベラルたちは、保守派が嫌いです。彼らは、ネタニヤフのようにしっかりしている人間が嫌いです。そして、信じがたいことに…非常に言葉を選んでお話ししますが、ベニヤミン・ネタニヤフに敵対する催しの一部が、アメリカ合衆国の億万長者、ジョージ・ソロスなどの資金提供を受けているのです。先週、ネタニヤフはイスラエルの政治への干渉に対して、ソロスを叱責しています。アフリカからの不法移民を、彼らの国に追放しようとするのことに關してです。ソロスは、イスラエルが不法移民を死に追いやろうとしていて、とんでもなく残酷な国のように見せかけている、イスラエルの団体に資金提供しています。実際は、我々が既に自国へ送り返した人たちの誰一人として、自分の国に戻ってから死んだり、苦しんだりしている人はいません。我々は、彼らにお金を与え、飛行機に乗せて、彼らの国に送り返しているのです。ですから、ネタニヤフに我慢ならないイスラエルの政治家の、内側にある要因のいくつかは、アメリカからの多大な資金提供を受けているか、民主的に選ばれた政府を倒そうとしているのです。アメリカ合衆国の民主党は、ロシアがあなたがたの選挙に干渉したとして、苦情を言っています。あなたがたの選挙を抑制した、と。さらには、ドナルド・トランプがロシアと手を組んだ、とまで言っていますが、良い事を教えて差し上げますよ。イスラエルの前回の選挙の時は、2015年の中ごろでしたが、オバマ政権は、何百万ドルというお金を、一億ドルに近いお金ですよ、それをネタニヤフを倒すために、国務省が資金提供したのです。我々はそれを知っていますし、国務省もそれを認識しています。ですから、アメリカの民主党たちに言うておきますよ。他のどの国に対して

も、アメリカの選挙に干渉した、と言って、ラッパを吹くのは止めていただきたい。アメリカ自身が、イスラエルのような他国の選挙結果を、支配しようとしたのですから。ただ、言うておきますが、イスラエルでネタニヤフが当選したことで、アメリカでは、彼を追い出そうとしていた多くの人が落胆しました。それでも彼は、イスラエル人によって民主的に選ばれたのです。ですから彼らは、ネタニヤフを倒すために、出来る限りの事をすれば良いのです。ネタニヤフは、当然2019年の終わりまで、この地位に残ることを決意しています。それが、この24時間のうちに起こったのは、警察がついに、ネタニヤフを収賄で起訴する、という、自分たちの勧告を司法長官に伝えようとしたのです。しかし、皆さんに言うておきますが、イスラエルの警察は、法律の上でもなければ、下でもありません。法を課すところです。つまり、ネタニヤフが起訴されるかどうかは、司法長官の管轄です。ですから、イスラエルの警察による、政府を起訴する勧告の半分以上は、事実、司法長官によって受理されません。そして、今回もまた、同じケースであることは、ネタニヤフも完全に確信しています。ということで、アメリカ人の多くが、現在、イスラエル人たちの直面している事が理解できるでしょう。メディアは妨害しようとし、内外の億万長者たちは、民主的に選ばれた政治家たちを倒そうとしているのです。これが現在の状況です。ネタニヤフとトランプは、ある意味同じ状況にあります。トランプを取り去ろうとしている者たちは、彼のイスラエル首相との関係が気に入りませんし、逆もまた然りです。そして、私がネタニヤフのことを心配していない理由は、はっきり言えば、イスラエルの対抗馬は誰一人として、ネタニヤフと同じレベルの者はいません。現在、指導者としてのネタニヤフのレベル、彼はベストではないかも知れませんが、しかし確実に、他よりは上です。そして、イスラエル人はそれを知っています。イスラエルの状況は、これまでで最高です。というと、ドローン攻撃や、F-16が撃墜されたなんてニュースを聞けば、皆さんが混乱するのも分かりますよ。しかし皆さん、イスラエルはこれまでで最高です。今までで最も平和で、経済も最高、失業率は最低、イスラエルでの生活は素晴らしいのです。その多くが、ベニヤミン・ネタニヤフのここ8~9年の働きのおかげです。私たちの国が、以前よりかなり良い位置にあるのは間違いありません。ちなみに、聖書はそのことを示唆していますよ。エゼキエル戦争の前のイスラエルは、安全、安心で繁栄しているのです。私たちの知っている通り、攻撃される主な理由の1つは、イスラエルが前代未聞の繁栄を満喫しているためです。ということで、ネタニヤフは適切な時、適切な場所に置かれた、適切な人物です。聖書的に言っても、神が、彼をこのようなときに、イスラエルの指導者にされたのだ、と私は思っています。さて、これがベニヤミン・ネタニヤフについて、でした。

仮にもし警察が勧告したとしても、司法長官がそれを決定するまでに何か月もかかります。そして組織が、ネタニヤフ首相の勧告投票を進めるとしても、そこからさらに何か月もかかります。ですから、今の時点では誰も、イスラエルの選挙を望んでいる者はいない、と私は思います。そしてネタニヤフは2019年の終わりとはまでは言わずとも、2019年中間までは首相でい続けるでしょう。ということで、心配していた方たちは、不安を鎮めることが出来たでしょうか？では、次に進みましょう。

皆さん、イランのドローンによる、イスラエルの領空潜入から4~5日が経過しました。人によっては、「イスラエルはなぜ、そんなリスクを冒して、ドローンが自分たちの領域に潜入するのを許したのだろうか？」と思っているでしょう。お答えしますと、もしドローンが近づいて、方向転換して、戻って行けば、イスラエルは自分たちがしたくても出来なかったことを、するきっかけがないのです。つまり、シリア国内のほとんどの対空防衛システムを破壊することです。そして、イランは大きな間違いを犯しました。作戦ミスです。彼らは、あのドローンを送り込むことで、イスラエルに屈辱を与えるつもりでした。そして、ドローンが離陸した

空軍基地を、イスラエルが攻撃すれば、彼らもまた、イスラエルの戦闘機を攻撃することが出来る、と考えたのです。ところが、彼らは間違いでした。彼らが、あれらのミサイルを発射したことで、我々にも口実が出来たのです。

「報復するなら、今だ。」

「イスラエルへの領空侵犯も甚だしい。」

「小さな戦争をするには十分だ。」

と。小さい戦争、というよりも、“このような規模の報復”とでも言いましょうか。1982年以降、なかった程の規模です。そして我々は、地上にある、12個の非常に高質のターゲットを破壊しました。100%ロシア製の対航空機砲台だと言っておきます。これは、ロシアが良く思っていない理由の一つです。残念ながら、イスラエルの戦闘機が戻ろうとした時、ガリラヤ湖の近くで、飛んでいた対航空機ミサイルの一つが、イスラエルのF-16の真横で爆発して、その爆破から生じた破片の一部が、F-16のコックピットに貫通したのです。それでコックピット内でパイロットが負傷した、と我々は見えています。そのため、彼らは緊急脱出しなければならなかったのです。彼らは、緊急脱出したために負傷したのではなく、負傷したから緊急脱出したのです。神に感謝な事には、彼らは現在、ずいぶんと回復している、とのことです。

ともかくポイントは、原始的な SA-5 対航空機ロケットの一つが、何とかイスラエルの領空防衛システムに潜入し、F-16の隣で爆発することが出来たことで、専門家の多くが疑問に思っています。

「イスラエルは既にF-35を持っているのに、なぜ使わないのか？」

答えは、我々はあれよりも、もっと大きな事のためにF-35を取っておいてあるのです。

「今回のことよりも、もっと大きな事とは、何があるだろうか？」

と思う方は、イザヤ書 17:1~2 を読まれると良いでしょう。

もう一つ、皆さんにお知らせしたいことは、イラン製のドローンが、イスラエルに潜入した瞬間に、イランが知らなかったのは、ネタニヤフが全世界に向かってずっと言ってきたことを、彼らが確証したのだ、ということです。

「イランのシリア国内での確立は、いずれイスラエルに向けられる。それは数日、数週間、数ヶ月の間に起こるだろう。」

彼らがそれを証明したのです。彼らがそれを証明し、今度は、ほんの数分前に、アメリカ合衆国の国連大使ニッキー・ヘイリーが言いました。

「イランは、イスラエルの領空を犯した。彼らはシリアで、殺し屋のように振る舞っている。」

というと、皆さんは

「ただの言葉だろう。」

と言うかも知れませんが、違います。

アメリカは、私は実に近い将来だと思いますが、今後のイラン協議撤退の決断に向けて、下地を整えているのです。イラン協議から撤退することで、起こる影響について説明しましょう。一旦、アメリカがイラン協議の一員でなくなると…というよりも、実際には、それに反対することになります。核協議です。すると、次のような事が起こります。基本的にアメリカは、イランと取引のある国は全て、アメリカでビジネスをすることを認めません。そうなれば、ヨーロッパ人と、いくつかのアジア諸国と、それから当然、ロシアにとっても大打撃となります。このように、イランはダブルで間違いを犯したのです。

① 彼らはネタニヤフが正しかったことを証明しました。その結果、シリアの防空手段の3分の2を失いまし

た。

- ② イランは、アメリカが協議から撤退するための、最高の口実を与えました。そして、彼らとの取引を望んでいた、多くの国々を失望させました。

そして現在、プーチンがどれほど屈辱を受けているか、想像出来るでしょう。彼は、この協議のために必死で頑張ったのです。その恩恵を期待していたのです。プーチンは現在、狂ったようにイランに武器を売りつけていて、短時間で可能な限りの資金を稼ぎたいのです。そこから、ほんの数日前に起こった事に繋がります。明確にしておきますが、皆さんは地上の状況を理解しなければなりません。原油価格が1バレルあたり\$60を切ると——これもロシアとサウジアラビアが石油生産を縮小したからで、恐らく\$50以下にまで下がるでしょう。ロシア経済の状況は引き続き流血し、下降し続けています。そしてプーチンは、それに対して何とかしなければなりません。プーチンは、もし西シリアを安定させれば、彼の軍隊はバッシュール・アサドの軍隊と共に、シリアの東側を占領することが出来、そうすれば石油とガスの恩恵を受けることが出来るだろう、と考えていたのです。大半がそこにありますから。彼は、自分たちが石油とガスをくみ上げ、シリアでの経費の全部を、それで賄おうと考えたのです。しかし、彼が考えていなかったのは、以前、ISISが支配していた、この全ての石油とガスの源泉のある場所は、クルド人が占領した事です。現在は、クルド人がシリア東部にいます。つまり、シリアの30%が、アメリカ兵の司令の下、クルド人によって支配されているのです。皆さん、トランプは中東に興味がない、彼は中東で何もしない、と誰もが思っていますが、密かに水面下で彼が今行なっていることは、オバマ政権が8年間で行なったことを全て合わせても、まだ多いのです。現在、シリア東部のクルド人は、アメリカの司令官、アメリカの武器、アメリカの訓練を満喫しています。それ以上に彼らは、石油とガスを満喫しているのです。ISISが親切にも、それを残して行ってくれましたから。

興味深いのが、1月のある時、プーチンの兵士が、バッシュールの兵士たちと一緒に、ISISによって占領されている、デリゾールのすぐ前からユーフラテス川を渡っていました。彼らはなんとか、川の5km東側まで進めることが出来たのですが、彼らが止めた理由は、ただアメリカが「そこで止めろ」と言ったからです。そこで、ロシアがバッシュールとイランの相談役と共に決断したのは、そこからさらに先に進めようということでした。彼らは、そのメッセージを理解しませんでした。アメリカによって、彼らに与えられたメッセージを、彼らは理解しなかったのです。アメリカが彼らに与えたメッセージをお見せしましょう。ご覧ください。1月21日、このカラー写真が撮影されました。ユーフラテス川を渡るために、ロシアが建設した橋です。2月5日、橋がもうありません。モノクロ写真を見てください。もう、橋がありません。アメリカは基本的には、

「我々は、あなたがたにはそれをさせない。」

と言ったのです。しかし、すでにユーフラテス川を渡った軍隊がいて、それが、上級兵だったのです。シリアと、驚くことにロシアの傭兵です。Wagner PMC（民間軍事会社）で知られる軍隊です。これは元々ロシア軍の司令隊にいた人たちから成る、小さな民間軍で、今はお金のために働いているのです。プーチンは、彼らのことを兵士としては数えていません。彼らが死んでも、死亡したロシア軍兵士の数には入れなくて済むからです。しかし彼は、基本的に、ここに責任の無い兵士たちを雇っていたのです。

これら、アサドとプーチンの精鋭部隊が、5kmの地点を越えて前進し始め、2月7日と8日の間に何が起こったかといえば、この500人の兵士たちは前進し、アメリカが恐らく、彼らを攻撃したのでしょう。これは、この8年間で、シリア国内では最も効果的な攻撃だった、と言っておきます。ロシアとシリアを代表する、何百人という兵士が攻撃されたのです。100人以上が死亡し、更に何百人もが負傷しました。死者の中には、明

らかにスンニ派もシーア派もドゥルーズ派もいたのですが、更に Wagner 軍隊の 20~25 人のロシア兵もいました。誰もこれについて語りませんが、我々のところには、彼らの葬式の動画があって、それもシリアのいくつかの町と、ロシアのサンクトペテルブルクです。誰がいつ、どういう死に方をしたのか、我々は知っていますよ。

ロシアと、バッシュール・アサドの受けたショックはあまりにも大きくて、彼らは、「トランプは中東にはもういない」と本気で信じていたのです。「トランプは中東に興味がない、彼は中東のことなど、気にかけていない」と言うニュースを本気で信じていたのです。そこへイスラエルが来て、彼らの防空システムの 3 分の 2、少なくとも半分を破壊しました。

つまり、イスラエルは彼らの防空システムの半分を破壊し、アメリカは彼らの精鋭部隊をすべて破壊していて、現在のご覧の通り、屈辱とショックと、流血のロシア軍と、ロシア大統領がシリアにいます。皆さん、理解しなければなりません。アメリカが東側で、シリアの 30% を支配しているだけでなく、エルドアンは、彼の全兵士をシリア北部に持ち込み、北部でシリアのほぼ 15~20% を占領していて、あそこにいるクルド人が拡大し、問題を生じさせないようにしています。

ということで、一体どうなっているのでしょうか。アメリカが東側で 30%、トルコが北部で 20% を支配しています。イスラエルが報復として、ダマスカス周辺の全ての防空システムを破壊しています。ロシアとシリアが現在どこにいるか、分かりますか？こうして話をしている間にも、ロシアの熊がどうなるか、分かりますか？

次に、それに加えて、パレスチナ人たちは現在、もちろんアメリカのエルサレムに関する立場が気に入りませんから、彼らはアメリカには一切協力しないことに決めました。そこでパレスチナ人たちは今、ロシアの胸に飛び込んで行っています。

「我々は、アメリカが中東で行う事には一切参加しません。だから、助けてください。」

と言って、行くのです。そして屈辱を受け、血を流しているロシアの大統領が、何らかの形で、間もなく起こるイスラエル侵略に、これを利用するのが想像できますね。高い確率で、彼はパレスチナ人を助ける名目でやって来るでしょう。その途中で、彼の頭の中に本当にある目的は、イスラエルのガスと石油。しかし、イスラエルは無力にされる、と言う事実から、イスラエルは向かって行きません。私には、その日、その時ははっきりと分かりませんし、知る必要もありません。ただ、私に言えることは、シリアの現在の状況は、これまでに一度もなかった程、一触即発で敏感です。シリアの戦争は終わった、と世界中に告げた後、あちらでの勝者はロシアで、バッシュール・アサドが引き続き権力を握る、と世界中に告げた後、真実は真逆であることを、私たちは実際に目にしています。私たちが見ているのは、もはやシリアは存在せず、東側では 30% がクルド人によって占領され、北部では 20% をトルコが占領しています。中間では、イランが干渉し、イスラエルがそれに報復し、良い状態ではありません。ということで、ドローンに関するイランの決断は、大きな間違いであったことが、確かに分かりました。そしてさらに大きな間違いは、アメリカの中東での立場に関しての、ロシアとシリアの決断です。言っておきますが、屈辱を受けたプーチンが、何か大きなことをするのは見て取れます。言っておきますが、彼は今、不満です。彼は、イスラエルの報復に関して不満で、イランがあれを行い、イスラエルの報復を引き起こしたという事実に関して不満をもっています。シリア東部での、アメリカの攻撃にも不満です。そして、彼がシリアの泥沼にはまっている 4 年間、彼はお金を得られず、ただ浪費しているだけであることに、確実に不満です。シリアのガスと石油のほとんどが、彼の手中にないという事実、彼は不満です。聖書には、彼は略奪し、奪うために攻めて来る、と書かれています。聖書によれば、シェバとデ

ダンであるサウジが、批判して言う、と書かれています。ですから、彼を批判する者たちは皆、ロシアの真の意図を知っています。これはかなり興味深いです。

これら全てに加えて、ロシアがシリアに留まっていなければならないのには、他にも理由があるのです。ロシアの港のほとんどが、一年の内の8か月以上は水が凍っています。水が冷たいか、ほとんどの地域では凍っています。移動の為、物を運ぶため、物事を移動させるのを可能にするためには、暖水の港が彼らには必要なのです。そして、彼らがシリアで海軍基地に抑えている場所は、彼らにとっては極めて重要なのです。暖水の港は、ロシアにとっては非常に決定的で、彼らにとっては、世界への酸素です。冬の間、ロシアでは全てが凍ってしまいますからね。ですから、ロシアには、他の世界への酸素パイプが必要で、彼らはそれをシリアに見つけました。しかし、彼らには、現金もまた必要なのです。現金、石油、ガスが必要です。そして、彼らがそれらを得られない時は、どうやって得るのか策を練ります。だから、現在の中東の状況はかなり面白い、と私は思ったのです。かなり面白いと思ったのは、全てが聖書に書かれている事とぴったり当てはまるだけでなく、まだ勝負は終わっていないということ、皆に示しているからです。内戦がそんなに早く終わるなんて、考えないでください。8年目に突入しましたが、解決策は全く現れていません。バッシュール・アサドは、以前、反政府勢力が感じていた事を今日、感じました。反政府勢力が感じていた事とは、大国が彼らに敵対して介入してくる時の気分です。現在、バッシュール・アサドは、アメリカのような大国が、彼に敵対して介入するというのがどういう事かを感じているでしょう。彼の史上最強の兵士たちに対する、あのような攻撃を目にするのは、とんでもない気分でしょう。

ということで、トルコがシリア北部にいること、アメリカがシリア東部にいることが分かりました。ロシアが、戦略ミスをしたことが分かりました。そして、イランもまた、イスラエルに対するドローン攻撃の結果、グラグラに揺れていることも分かりました。これらのことから思うのは、ダマスカスを燃やし、あの地域全体をはるかに大きな事へと導くマッチとなるのは何だろうか、ということです。あなたはどうか分かりませんが、私はワクワクしていますよ。私は、人が殺されることに関してはワクワクしません。しかし、自分を賢いと思っている、世界の指導者たちが何も知らず、神が完全に支配されているのを見て、私はワクワクします。そして最終的に、終わりの時には、私たちは書の終わりを知っています。はっきりと何が起こるのか、私たちは知っています。教会に限って言えば、私はいつも言いますし、今後もずっと言いますが、今こそ、私たちが御父の仕事に勤しむ時です。Watchman/見張り人にならなければなりません。世界中で、城壁の見張り人です。あなたは、初めから終わりの事を知っているのです。神が、私たちに明かされたのですから。私たちは、私たちの知っていることを、世に伝えなければなりません。それに対して、彼らの好きなようにすればよいのです。拒絶することも出来るし、信じることも出来る。ただ、無視することは出来ません。私たちは、私たちのすべき事をするのです。これら全ての悪い出来事の向こう側に、大きな希望があるのですから。その希望とは、イエシュア、平和の君、主の主、ユダ族の獅子、この地域に平和をもたらすことが出来るのは、彼だけです。また、あなたと、あなたの心に平安をもたらすことが出来るのも、彼だけです。しかし、あなたが主を自分の救い主として受け入れない限り、残念ながら、あなたは、これから始まる戦争や、この世の欺きなど、敵のすべての計画の対象となります。さらに、皆さんに思い出してほしいのは、この終わりの時代、私たちは福音を伝えて、御父の仕事に勤まらなければなりません。それはつまり、あなたはただ見張り人であるというだけでなく、あなたはビジネスマンでもある、ということです。あなたも、御父のビジネスに励むのです。もちろん、

私たちは彼に来てほしいと願っています。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

しかし、主が来られるまで、私たちが悪いものから守られるように、と主は祈ってくださいました(ヨハネ 17:15 参照)。だから、私たちは御父の仕事をするのです。

ということで、皆さん、元気を出してください。神が完全に支配されています。状況は悪くなくも知れませんが、物凄く酷くなるかも知れません。しかし神は決してコントロールを失ったり、不意を突かれることはありません。彼はまだ御座に着いておられます。私はいつも言うのですが、世は、並行する二つの軌道によって動いています。世の情勢の軌道と、私たち自身の人生の軌道です。世の情勢は、あなたがどう思おうと、何をしよう、何を言おうと起こります。聖書は、2,800年以上も前に、何が起こるかを告げています。あなたがそれを変えることは出来ません。ロシアが攻めて来るのをあなたが止めたりはしません。反キリストの興りを、あなたが止めることは出来ません。第三神殿が建つことを、あなたが止めることはありません。イエスが戻って来るのを、あなたが止めることは出来ません。こういったことを、あなたには止められません。大地震がオリブ山を二つに裂くのを、あなたが止めることはありません。こういったことは、あなたには止められないのです。あなたが、あなたの決断によって出来るのは、唯一、イエスを受け入れるのか、受け入れないのか、それだけです。これらの出来事が起こったとき、あなたの居場所が決まります。ということで、これらが二つの軌道です。あなたの人生、あなたの決断が関わる事、しかし世の出来事は、あなたの決断には関係ありません。神は、指導者たちの心を知っておられます。

神は、世界中の人々の心を知っておられます。

そして、全知の神が、これから何が起こるのかを告げてくださっているのです。だから私たちは知り、私たちは備えるのです。しかし同時に、神は、私たちが決意、決断することを望んでおられます。今こそ、私たち全員が、真剣に主と歩むのかどうかを決断する時です。そして、今のあなたの決断が、今かも知れないし、今日かも知れないし、明日かも知れません。その時の決断で、残りの世界情勢が起こる時の、あなたの居場所が決まります。ですからどうか、皆さん、世の出来事に恐れおののかないでください。あなたが恐るべきことは、あなたの決断の欠如です。一旦あなたが決断したら、主に従うなら、これらのことを心配する必要はありません。全て、物凄く酷い事が起こるでしょうが、その大部分は、私たちは、ここにはいませんから。だから、決断とは、あなたはキリストに従い、永遠を彼と共に過ごすのか、それともキリストを拒絶して、完全に神から離れ、神から切り離されて永遠を過ごすのか。神は愛であり、神はいのち、神は道であり、真理です。ですから、あなたには、愛は無く、いのちもなく、真理もなく、道もなく、混乱し、欺かれます。これが悲しい現実です。

皆さん、続けて御言葉を読みましょう。御言葉は、聖書預言だけではありません。御言葉は、私たちの毎日の食べ物です。聖書では、イエスがこう言われました。

17 真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。

(ヨハネ 17:17)

神の御言葉は真理で、それによって私たちは、自分を聖めることが出来るのです。

だから私たちは、毎日御言葉に浸らなければなりません。

私たちはひざまずき、祈らなければなりません。

私たちは、私たちに与えられた、この主との関係に、栄養を与えなければなりません。

それともう一つ、私たちは、私たちが目にしていることによって、ただ励まされるだけでなく、他の人も励ますのです。主が、全てを支配しておられます。

皆さん、ありがとうございます。現在の中東の状態を、皆さんも理解出来ていれば幸いです。ワクワクする時代です。先ほども言いましたが、ユーチューブチャンネルのスペイン語版が出来ました。Behold Israel スペイン語のユーチューブチャンネルのリンクを見つけてください。それから、どうかインスタグラムもフォローしてください。Beholdisrael です。現在、私はマイク・ハッカビー議員のツアーのガイドの一人です。彼とはとても良い友人で、共に、とても良い時間を過ごしています。現在のアメリカについて、アメリカが再び偉大になっていることなど、私はその事に感謝していて、たくさんのことを話しました。それから、ホワイトハウスの報道官である、彼の娘さんの見事な仕事ぶりについて、実に多くのことについて話をしました。明日は、エルサレムを出て、死海、ガリラヤへと向かいます。このツアーの素晴らしい写真をご覧になりたいなら、インスタグラムのBeholdisrael をフォローしてください。ニュースレターは、ウェブサイトのBehold Israel.org より、ウィークリーニュースレターをご登録ください。それから、フェイスブックをフォローしてください。Behold Israel です。ユーチューブ、ツイッターも Behold Israel です。ありがとうございます。God bless you! では、このアップデートをアロンの祝福で締めたいと思います。

ヴェイシェメレハー

וְיִשְׁמְרֶךָ

..(主が)あなたを守られますように

アドナーイ

יְהוָה

主が

イエヴァーレフハー

יְבָרְכֶךָ

あなたを祝福し

ヴィーフネッカー

וַיְהַנֶּכֶךָ

..(主が)あなたを恵まれますように

エーレーハー

אֵלֶיךָ

あなたに(向けて)

パーナーヴ

פָּנָיו

御顔を

アドナーイ

יְהוָה

主が

ヤーエール

יָאֵר

照らし

シャーローム

שְׁלוֹם

平安を

レハー

לְךָ

あなたに

ヴェヤーセーム

וַיִּשֶׂם

(主が)賜るように

エーレーハー

אֵלֶיךָ

あなたに(向けて)

パーナーヴ

פָּנָיו

御顔を

アドナーイ

יְהוָה

主が

イッサー

יִשָּׂא

上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

それは、あらゆる理解を超える平安、世が与える事の出来ない平安、世が理解することも出来ない平安、唯一、

平和の君、平和の主だけが与える事の出来る平安です。それは今も、いつでも与えられることが出来、ここでも、どこでも与えられることが出来る平安です。

父よ、感謝します。私たちに与えられた約束に、感謝します。
イエスの御名によって。アーメン。

エルサレムより、シャローム！それから、バレンタインを祝う人には、ハッピーバレンタインデー！私の妻に、ハッピーバレンタイン！世界中の女性たちに、ハッピーバレンタイン！男性の皆さん、奥さんに愛していることを伝えましょう！

ありがとうございます。エルサレムより、God bless you! シャローム！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>